



教務だより



【夏期間中のマスクについて】

「新しい生活様式」を則った新型コロナウイルス感染症対策へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

これから、夏を迎えるにあたり、熱中症予防への配慮も必要になってきます。保護者の皆様には、さらにご理解とご協力いただくこととなりますが、よろしくお願いします。

なお、学校では以下のような指導を行いますので、ご承知おきください。

【基本的な感染症対策】

○これまで同様に、1 身体的距離の確保 2 マスクの着用 3 手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」を避けるなど、「学校の新しい生活様式」を踏まえた教育活動を行う。

【熱中症対策】

○「体育時のマスクの着用」

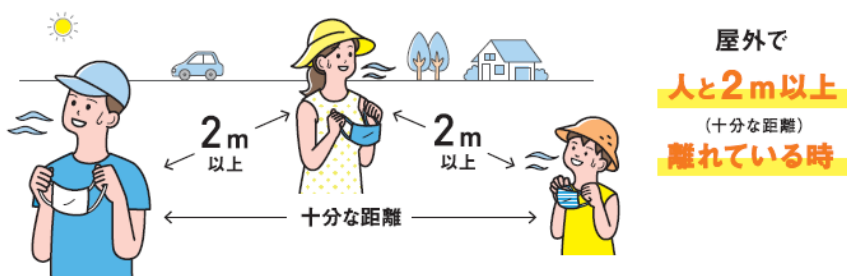
体育の授業では、教師が「マスクを外して良いです。外す人はあごにかけましょう。」と必ず声かけを行います。

※①ソーシャルディスタンスを保つ ②不必要に声を出さない を守る。

マスクの着脱に際し、お子さんのみで判断が難しい場合も考えられます。ご家庭では下記の資料を参考に、マスクの着脱について話題にさせていただくようお願いします。

マスクを着用している場合としない場合を比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど身体に負担がかかることがある。

したがって、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなる恐れがあるので、①ソーシャルディスタンスを保つこと ②不必要に声を出さないこと この2点を守り、マスクを外すようにしましょう。(厚生労働省 HP「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント)より一部引用)



○「休み時間のマスク着用」

- ・「体育館」 ⇒マスク着用（激しい運動はしない）
- ・「屋 外」 ⇒①ソーシャルディスタンスを保つ ②不必要な声を出さないが 守れるならマスクを外しても良い

【その他】

こまめに水分補給をするよう声掛けをします。